

に、先の東日本大震災においては緊急輸送路等の役割のほか、津波堰き止め効果や緊急避難場所など減災面においても大きな効果を発揮しました。

このことから、災害に強く、安全・安心で活力に満ちた個性豊かな地域の形成と、地域間の広域的な交流・連携を支えるため、四国8の字ネットワークをはじめとする広域交流ネットワークの整備を、引き続き進めていく必要があります。

特に、四国8の字ネットワークは、近い将来高い確率で発生が想定されている「南海トラフを震源とする地震」などの災害時における緊急輸送道路や避難道路として重要な役割を担う「命の道」でもあります。

さらに、これらの整備効果を四国地方全体に波及させるための一般国道から地方道に至る道路についても、地域の実状に即した整備を進めることが急務であり、これらの道路整備の一日も早い完成を、四国400万住民はこぞって期待しています。

つきましては、次の事項の推進を強く要望します。

- 高規格幹線道路網計画の着実な推進を図ること。
 

高規格幹線道路の整備については、現在の整備スピードを落とすことなく、着実に整備の促進を図るとともに、整備の見通しが立っていない区間については、地域の実情に即した整備手法の導入などにより、国が責任を持って着実かつ計画的な整備を図ること。

さらに、暫定二車線供用区間については、早期の四車線化を図るとともに、今治小松自動車道、高知東部自動車道についても、整備促進を図り、着実に事業を実施すること。

  - 四国縦貫自動車道（徳島～川之江～大洲 222km）
    - 「徳島～川之江東」間の早期四車線化
    - 「松山～大洲」間の早期四車線化
  - 四国横断自動車道（阿南～徳島～高松～高知～大洲 441km）
    - 「阿南～鳴門」間の早期完成
    - 「鳴門～高松東」間の四車線化の早期整備
    - 「高知～須崎東」間の早期四車線化
    - 「佐賀～四万十」間の早期事業化
    - 「宿毛～内海（愛南）」間の早期事業化
    - 「西予宇和～大洲北只」間の早期四車線化
  - 今治小松自動車道（今治～いよ小松 23km）
    - 「今治～今治湯ノ浦 10km」間の早期完成
  - 高知東部自動車道（高知～安芸 36km）
    - 「高知～高知空港 15km」間の早期完成
    - 「高知空港～香南のいち 4km」間の早期完成
    - 「芸西西～安芸西 9km」間の早期完成
- 今後も計画的に社会資本整備を進める必要があることから、地方における道路の果たす役割や実情をよくご理解いただき、直轄事業を含め道路整備費の確保を図るとともに、平成24年8月に策定された社会資本整備重点計画を踏まえ、高規格幹線道路をはじめとした四国にとって「真に必要な道路」を計画的かつ着実に推進していくこと。また、遅れている地方の道路整備と計画的な維持管理を地方公共団体が主体的に行うため、防災・安全交付金や社会資本整備総合交付金については、地方の実情にあわせて機動的に活用できる自由度の高い制度にするとともに、予算の配分に当たっては、四国地方への重点強化を図ること。
- 多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するため、四国と近畿・九州との連携を強化する新たな交通軸の実現に努めること。
  - 紀淡連絡道路
  - 豊予海峡道路
- 本四3架橋がもたらす社会的効果を四国全域に波及させるため、高規格幹線道路とネットワークを形成する地域高規格道路の整備促進を図ること。
  - 阿南安芸自動車道
    - ・桑野道路、福井道路、北川道路、大山道路、安芸道路の早期完成
    - ・海部道路、東洋道路、東洋北川道路、北川道路（未事業化区間）、奈半利安田道路、大山道路（未事業化区間）の早期事業化
  - 徳島環状道路
    - ・徳島南環状道路、県道徳島環状線の早期完成
  - 高松環状道路
    - ・県道門座香南線の早期完成
    - ・未事業化区間の早期事業化
  - 松山外環状道路
    - ・松山外環状道路インター線、松山外環状道路空港線の早期完成、全線の事業化
  - 大洲・八幡浜自動車道
    - ・八幡浜道路、夜屋道路の整備促進、大洲西道路（仮称）の事業化
  - 高知松山自動車道
    - ・高知西バイパス、越知道路、橋防災の早期完成
    - ・越知町～仁淀川町大崎間の早期事業化
  - 高松空港連絡道路
    - ・未事業化区間の早期事業化
  - 伊予・松山港連絡道路
    - ・調査区間から整備区間への早期昇格
- 高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路の整備促進を図ること。
  - 国道56号中村宿毛道路
  - 国道56号宇和島道路
  - 国道56号津島道路
  - 国道56号窪川佐賀道路
- 一般国道、県道及び市町村道の整備促進によるバランスのとれた道路網の形成を図ること。
- 交通安全施設の整備促進を図ること。
- 道路事業における事業評価については、国土ミッシングリンクを含めた道路ネットワークにより将来交通需要推計を行うとともに、地方の実情や意見を十分に踏まえ、防災機能を評価に加えた事業評価基準に基づき、B/Cの算定結果にとらわれず、防災面の役割を優先的に評価し、さらに津波対策などに必要な道路を重点的かつ早期に整備できる仕組みとすること。
- 道路網整備にあたっては、地域の実状に即したローカルスペックの適用を推進すること。

- 国土開発幹線自動車道
  - 国土政策として計画された国土開発幹線自動車道建設法の予定路線である11、520kmは、国の責任において、あらゆる整備手法により早期整備を図られるとともに、新直轄方式による整備にあたっては、引き続き地方負担軽減のために必要な財源措置を講じられたい。特に「高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路」については新直轄方式と同様の財政措置を講じ、地方負担の軽減を図られたい。
    - ア、山陰自動車道の全線の早期整備
    - イ、中国横断自動車道姫路鳥取線の全線の早期供用及び暫定2車線供用区間の4車線化
    - ウ、中国横断自動車道尾道松江線の全線の早期供用
    - エ、中国横断自動車道岡山米子線の全線の早期4車線化
  - 国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路
    - 東広島・呉自動車道の早期供用
- 既存高速道路ネットワークの効率的な活用について
 

既存の高速道路ネットワークをより利用しやすいインフラとして活用していくため、道路利用者の意見を幅広く取り入れ、物流コストの低減に資するなど、より利用しやすい料金施策を実施するとともに、地方道路公社が管理する地方有料道路への財源投入による料金値下げや、スマートインターチェンジの整備に対する財政支援の充実を図ること。
- 地域高規格道路の整備促進について
 

活力ある地域づくりを図るため、高規格幹線道路と連携し、地域集積圏相互の交流等を可能にする地域高規格道路の整備を図られたい。

  - 地域高規格道路の整備
    - 〔鳥取県〕山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）、北条湯原道路、江府三次道路等
    - 〔島根県〕境港出雲道路等
    - 〔岡山県〕空港津山道路、倉敷福山道路、美作岡山道路、北条湯原道路、岡山環状道路等
    - 〔広島県〕江府三次道路、倉敷福山道路、東広島高田道路、福山環状道路、福山本郷道路、岩国大竹道路、東広島廿日市道路(安芸バイパス、東広島バイパス、広島南道路)、広島西道路等
    - 〔山口県〕岩国大竹道路、山口宇部小野田連絡道路、小郡萩道路、下関西道路、周南道路、下関北九州道路
    - 〔広島市〕広島高速道路等
  - 都市圏自動車専用道路等の整備
    - 〔広島県・広島市〕
      - ア、広島高速道路の整備促進
      - イ、安芸バイパス、東広島バイパス、広島南道路の整備促進
- 一般国道及び地方道の整備促進について
  - 一般国道の整備
 

高速自動車国道とあわせて、広域的な連携の骨格となる一般国道の整備及び地方中心都市における一般国道の著しい混雑の解消を図るため、バイパス等の整備促進を図られたい。
  - 地方道の整備
 

広域的な生活圏の形成に必要な県道及び日常生活の基盤となる幹線的な市町村道の整備促進を図られたい。
- 安全で安心できる国土づくりのための道路整備の推進について
 

代替性、多重性に配慮した広域的な幹線道路ネットワーク、空港・港湾等の交通拠点へのアクセス道路整備により災害に強い国土構造の形成を図るとともに、災害時に対応した道路の防災管理システムの整備を図られたい。また、冬期の安全な道路交通の確保を図るとともに、大規模地震時において、緊急輸送道路がネットワークとしての機能を発揮するように、橋梁等の耐震補強対策費の増額を図られたい。
- 道路ストックの老朽化対策の推進について
 

老朽化した橋梁、トンネル等の道路ストックの増大に対応し、適時適切な点検・修繕等による効率的な道路ストックの管理を行うことにより、安全性・耐久性を高めること。また、これに伴う大幅な予算の増額を図られたい。

また、ソフト対策として国が限度超過車両の通行を誘導すべき道路を指定する場合には、道路利用者の意見を幅広く取り入れて執行されたい。
- 交通安全対策及び渋滞対策、道路災害防除対策の推進について
  - 交通安全対策
 

道路交通のより一層の安全を確保するため、道路利用者、教育関係機関、警察、地域住民等関係者の意見を幅広く取り入れ、交通安全対策事業の強力な推進を図られたい。
  - 渋滞対策
 

道路利用の効率性を阻害する渋滞ボトルネック箇所について、道路利用者の意見を幅広く取り入れ、地域の実情を踏まえた対策の強力な推進を図られたい。
  - 道路災害防除対策
 

道路災害防除対策を強力に推進するための大幅な予算の増額を図られたい。
- 無電柱化の推進について
 

情報通信の高度化、都市景観の向上、安全で快適な歩行空間の確保、災害に強い町づくり、路上工事の縮減による渋滞の減少等を図るため電線共同溝整備事業の推進を図られたい。
- 道路の事業評価について
 

事業評価にあたっては、走行時間短縮、走行経費縮減、事故減少といった直接的な便益のみならず、地方の道路が有する地域の活性化や安全安心な生活の確保、広域的防災に資する役割など多様な効果を総合的に評価できる仕組みとすること。

## 四国地区道路利用者会議

四国は、本四3架橋の完成や、4県都を高速道路で結ぶエクスハイウェイの開通により本格的な高速交通時代を迎えています。また、東南部や南西部には高速道路ミッシングリンクが存在し、この解消に向け、8の字ネットワークの早期整備を目指して取り組んでいます。

言うまでもなく、道路は、21世紀の暮らしを支える最も重要な社会資本であるとともに